

緑風会 藪田 啓介 議員

ICT教育について

(質問) 本市のICT教育は、子ども達の多様な考え方や学力向上において、非常に効果があると思うが、各校の実践事例や資料などをデータベース化して市内の教職員が共有できるようにすべきであると思うがどうか。また、学校教育でICT技術電子教材を活用するにはOB教員やNPOなどによるICT教育推進室や担当係と

いった専門の部署による一元的な管理が必要と考えるがどうか。

(答弁) 現在、タブレットやノートパソコン、電子黒板等の配備は進めているが、全市的なネットワークは構築されていない。ICT教材は各学校で作ることもでき、その教育における効果については十分に認識しているので、ICT機器類の整備から情報共有の方法まで一元管理をすることについて、調査研究に取り組んでいきたいと考えている。

その他の質問 ○粗大ゴミ受付業務について

リベラル鈴鹿 森田 英治 議員

マイナンバーについて

(質問) 通知カードの状況と、紛失した場合の対応など、今後の状況について。

(答弁) 返送された通知カードは、平成27年12月28日までは特別窓口を開設して、お渡しするように対応している。その後少なくとも3カ月間は保管し、再度、はがきで案内を行い、最終的には国の指示に従い処理する。

通知カードを紛失した場合は、市民課への届け出が必要である。個人番号のみでの悪用の可能性は低いと考えられるが、不正の恐れがあると認められた場合、申請により個人番号を変更することができる。

個人番号が必要になるのは、平成28年1月1日以降に提出する所得に関する申請書、雇用保険に関する届け書、平成29年1月1日以降に提出する健康保険や厚生年金の資格に関する届け書である。

その他の質問 ○人事制度について

鈴鹿の風 中西 大輔 議員

気候変動への備えについて

(質問) スーパー台風や極端な豪雨に対する考え方と取り組みについて。気候変動への適応計画策定の考え方について。影響に対するリスクマネジメントを検討する部署はどこか。「まちづくり・地域づくりとの連携」の考え方について。

(答弁) 現在「鈴鹿市地域防災計画の風水害等対策編」の修正準備を進めている。今後、国で策

定される「気候変動の影響への適応計画」のガイドラインや、三重県など他の自治体でのモデル事業の進捗状況等を注視し、その取り組みについて研究したい。7つの分野のリスクマネジメントについて、まず、担当部署で対応するが、平成28年度からは、危機レベルによって危機管理部が担当の部署と連携を図ることになる。各地域に「地区防災計画」作りを働きかけ、積極的に支援を行い、地域での防災活動を促進する。その中で、「気候変動の影響への適応計画」についても情報提供する。

市民クラブ 原田 勝二 議員

安全で安心なまちづくり

(質問) ①高齢者の自動車運転事故防止対策について。②津波避難ビルについて。③防犯灯設置事業について。

(答弁) ①本市の自動車を保有する高齢者(65歳以上)数は28,868人で、市内の高齢者の62.5%である。市内での交通死亡事故においても、高齢者の死者数は50%を超えている。このような中、免許

証を自主返納する高齢者は年間約120人ほどである。本市としては、今後も高齢者に対する安全講習や道路の整備等の対応をしていく。②避難ビル空白地域(若松地域)には、若松小学校しか避難ビルが無いため、今後は、ハード・ソフトを組み合わせ、効果的・計画的に事業を展開していく。③集落間の通学路防犯灯は、122灯が自治会管理から市管理へ移行し、さらに新しく347カ所にも設置した。新たな鈴鹿市総合計画2023の中で、犯罪の無い安全で安心なまちの実現に向けた防犯設備の充実を推進していく。